

令和 5 年度日立市原子力災害広域避難訓練の結果について

1 訓練概要

(1) 目的

東海第二発電所における事故発生に伴う市民の広域避難を想定した「日立市原子力災害広域避難計画」の策定に当たり、計画の実効性を検証するとともに、原子力災害時における関係機関との連携強化及び市民の原子力防災意識の向上を図る。

(2) 日時

令和 5 年 11 月 5 日（日） 午前 7 時 30 分から午後 2 時 30 分まで

(3) 対象地区

東海第二発電所からおおむね半径 5 キロメートル以内の区域（P A Z）
（対象コミュニティ単会：坂下地区、久慈学区、大みか学区）

(4) 主な訓練内容

東海第二発電所における原子力事故を想定し、P A Z 内の住民の福島県いわき市及び田村市への広域避難訓練を行った。

ア 災害対策本部設置・運営訓練

イ 住民避難訓練

(ア) 住民の避難 一時集合場所からバスや乗用車（レンタカー）を利用し、福島県の避難中継所に避難

(イ) 児童の避難 小学校からバスを利用し、福島県の避難中継所に避難

(ウ) 在宅の避難行動要支援者の避難
福祉車両を利用し、市内の放射線防護施設に避難

(5) 参加機関

日立市、茨城県、日立警察署、陸上自衛隊、日本原子力発電株式会社、日立市社会福祉協議会、福島県いわき市、福島県田村市

(6) 参加者数 458 名（住民 237 人（児童 61 人を含む）、市職員 146 人、いわき市・田村市職員 31 人ほか）

2 評価の概要

今回の訓練については、参加住民アンケート、参加職員アンケート及び評価員評価に基づき検証を行い、策定中の広域避難計画に反映させている。

評価の概要は、別紙のとおり。

以上

日立市原子力災害広域避難訓練評価の概要

1 全体評価

(1) 策定中の広域避難計画の実効性の検証

計画の各種想定は、バス避難者について、過去の住民アンケート結果から、住民の約2割と見込んでいるが、今回の参加住民アンケート結果と合致するものであった。

また、訓練実施に当たり、新規に整備した各担当業務に関するマニュアル及び関連様式を使用することにより、業務手順・内容の確認を行うことができた。

(2) 原子力災害時における関係機関との連携強化

災害対策本部運営訓練に県、警察、陸上自衛隊、原電等に参加いただき、事故の進展に応じた具体的な対応について確認することができた。

また、避難先であるいわき市・田村市の協力により、事態の進展に応じた連絡内容の確認や避難中継所・避難所の開設・運営手順の確認ができ、関係機関との連携強化を図ることができた。

(3) 市民の原子力防災意識の向上

訓練参加住民の8割が、事前説明会や訓練当日の行動を通して、原子力災害時の具体的な避難の流れや実際の集合場所及び避難先について理解することができたと回答しており、市民の原子力防災知識の向上が図られた。

2 計画反映・検討事項（主なもの）

区分	意見		対応
(1) 災害対策本部 設置・運営訓練	職員	口頭指示事項の伝達漏れ防止のため、想定される指示内容をあらかじめマニュアル等に例示しておく。	計画資料編に「緊急事態区分に応じた指示等一覧」を掲載する。
(2) 一時集合場所 開設・運営訓練	住民	一時集合場所における避難者への詳細な情報提供が不足していた。	計画資料編の「一時集合場所運営マニュアル」に、避難住民への情報提供内容例を記載する。
	住民	安定ヨウ素剤についての説明が不十分だった。	
(3) 放射線防護施設 運営訓練	職員	受付での避難者名簿の記入は、受入者の特性上、本人記載ではなく、係員による聞き取り記載が円滑な受付に繋がる。	「放射線防護対策設備の運用及び維持管理マニュアル」に受付手順を記載する。
(4) 学校児童避難 訓練	評価員	教員から保護者への伝達事項（避難児童名、現地引渡し場所、時間等）の整理及び伝達手段の検討が必要。	各学校の「原子力災害対応マニュアル」に記載する。

区 分	意 見		対 応
(5) 避難経路における誘導	住民	移動中にも災害情報を得られれば良い。	市域を離れてもプッシュ型の情報提供が可能なスマートフォン用アプリ「ひたちナビ」の利用啓発を図る。
(6) 避難中継所開設・運営訓練、避難所開設・運営訓練	住民	避難中継所における避難者への詳細な情報提供が不足していた。	「日立市民の避難受入対応マニュアル」に、避難住民への情報提供内容・説明表示の例を記載する。
	住民	会場入口に受付手順の説明があれば、全体の理解に繋がった。	
(7) 避難先現地本部開設・運営訓練	職員	実災害時の係員の習熟のため、担当者の固定化、又は定期的な訓練が必要。	計画資料編の「避難先現地本部業務マニュアル」の記載内容の充実を図るとともに、訓練を継続的に実施していく。

以上